

俳句	季語	季節	切れ字	メモ
赤い椿 <small>つばき</small> 白い椿と落ちにけり				
バスを待ち大路の春をうたがはず				
萬緑 <small>ばんりよく</small> の中や吾子 <small>あご</small> の歯生え初 <small>は</small> むる				
飛び込みのもう真 <small>ま</small> つ白 <small>あわ</small> な泡の中				
くろがねの秋の風鈴 <small>ふうりん</small> 鳴りにけり				
金剛 <small>こんごう</small> の露 <small>つゆ</small> ひとつぶや石の上				
冬菊 <small>ふゆきく</small> のまとふはおのがひかりのみ				
流れ行く大根 <small>だいこん</small> の葉の早さかな				
咳 <small>せき</small> をしても一人				

☆気に入った俳句を伝え合おう

気に入った俳句



☆鑑賞文に挑戦！

( ) の中に書いていこう。

この俳句は ( ) が詠んだ俳句で、  
 ( ) が内容である。  
 俳句の中の言葉に ( ) があるが、これは  
 ( ) を表している。  
 私はこの ( ) 。